

全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料（令和3年3月9日）【抜粋】

認知症介護実践者研修の見直しの主なポイント

- ・ 研修目標に、地域の認知症ケアの質向上に関与することを追加
- ・ 効果的な研修実施に向けて、受講者の前提となる知識等を一定以上とするため、対象要件に、**認知症介護基礎研修又はそれと同等の研修を修了した者とする**ことを追加
- ・ 講義・演習の時間数を**7.5時間削減して24時間**とし、受講しやすさを向上
- ・ 講義・演習を**2ステップ**に分割
→現場を離れる期間を分割することで受講しやすくするとともに、学習内容の実践と振り返りの強化によるスキル向上を目指す

		科目名	時間数
前期	1日目	(1) 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	180分
		(2) 生活支援のためのケアの演習 1	240分
	2日目	1 認知症ケアの基本	60分
		(3) QOLを高める活動と評価の観点	60分
		(4) 家族介護者の理解と支援方法	90分
		(5) 権利擁護の視点に基づく支援	90分
	(6) 地域資源の理解とケアへの活用	120分	
自施設・事業所で 2 (1) 「学習成果の実践展開と共有」の課題に取り組む			
後期	3日目	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践	(1) 学習成果の実践展開と共有 60分
		(2) 生活支援のためのケアの演習 2 (行動・心理症状) 240分	
		(3) アセスメントとケアの実践の基本 120分	
	4日目		180分
		3 実習	(1) 職場実習の課題設定 240分
実習期間	(2) 職場実習 (アセスメントとケアの実践) 4週間		
報告会	(3) 職場実習評価 180分		

認知症介護実践リーダー研修の見直しの主なポイント

- 研修目標に、地域の認知症施策の中での役割を担うことを追加
- 講義・演習の時間数を25時間削減して31時間(4日+3時間)とし、受講しやすさを向上
- 領域別に介護職員等への指導方法を学習していた科目を統合し、「職場内教育(OJT)の実践」として、様々な場面で応用できる指導方法を学習する内容に改訂
- 職場実習では、作成した指導計画を対象の介護職員等と必ず共有するよう位置付け

	科目		時間数
1日目	1 認知症介護実践リーダー研修総論	(1) 認知症介護実践リーダー研修の理解	90分
	2 認知症の専門知識	(1) 認知症の専門的理解	120分
		(2) 施策の動向と地域展開	210分
2日目	3 認知症ケアにおけるチームケアとマネジメント	(1) チームケアを構築するリーダーの役割	180分
		(2) ストレスマネジメントの理論と方法	120分
		(3) ケアカンファレンスの技法と実践	120分
3日目	3 認知症ケアにおけるチームケアとマネジメント	(4) 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法	180分
	4 認知症ケアの指導方法	(1) 職場内教育の基本視点	240分
4日目	4 認知症ケアの指導方法	(2) 職場内教育(OJT)の方法の理解	240分
	4 認知症ケアの指導方法	(3) 職場内教育(OJT)の実践	180分
5日目			180分
	5 認知症ケア指導実習	(1) 職場実習の課題設定	240分
実習期間	5 認知症ケア指導実習	(2) 職場実習	4週間
報告会	5 認知症ケア指導実習	(3) 結果報告	420分
		(4) 職場実習評価	上記に含む